

第1分科会 実技研修 「カーリンコン」

担当 向日市スポーツ推進委員協議会

向日市ではカローリングの普及に努めてきましたが、道具も大きく準備もてがかかるところから、もっと手軽に取り組めるニュースポーツを探していました。

大阪府枚方市で考えられたカーリンコンに出会いました。

カーリンコンとは「床の上で行うカーリング」です。

カーリングではストーンを、カローリングではローラーを、カーリンコンでは円盤ディスク（直径12cm重さ80g）を投げます。ポイント（黄色の円盤）の近くにチームのディスクが多くある方に得点が加算されます。得点を先に7点取ったチームの勝ちというゲームです。

日本カーリンコン協会で1セット¥14,300（税込）で購入できます。

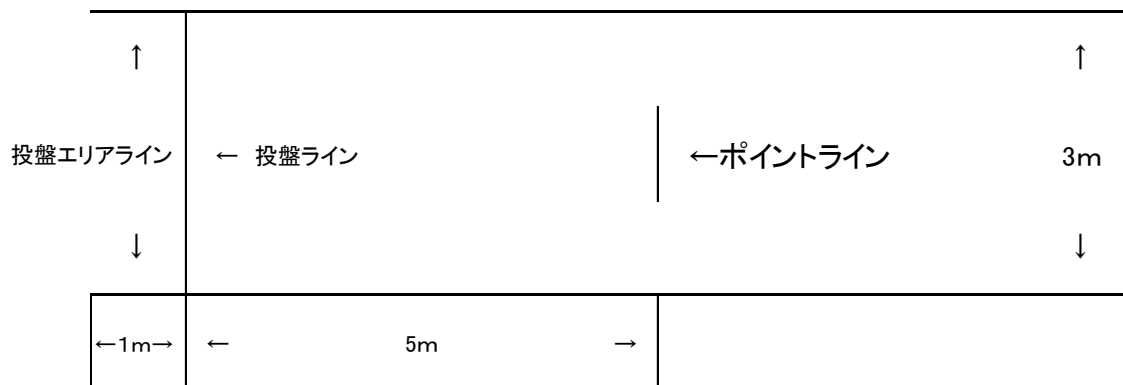
カーリンコン

★カーリンコンとは

国民的に人気の出てきたカーリングを連想させ、ディスクが当たって響きあうカーンコーンの音を合わせ、略して名付けられました。カーリング・カーンコーン『略して』カーリンコン、英文字では『CURLINKON』となります。

👉 使用するコート

1. コート：3m×10mとし、ポイントラインを5mに設定します。



👉 使用する道具

- ディスク : 12 枚 (直径 12cm 重さ 80g 厚さ 11mm)
- ポイント : 1 枚 (直径 6cm 重さ 10g 厚さ 3mm)
- メジャー

👉 競技方法

1. チーム編成

- 団体戦では6人対6人まで可能ですが、各自2枚のディスクを持つ1チーム3人制を原則とします。(各自2枚のディスクを持つ)

2. 先行の決め方

- 最初にジャンケンをして勝ったチームが赤で後攻、負けたチームが緑で先行となります。

3. 投球順序

- 先行の緑チームの1人がポイントを5～10mの範囲内に投げ、続けてディスク1枚を緑面を上にして投げます。(ポイントが範囲外の時はもう一度投げられるが、2回目も範囲外なら投盤者のディスク1枚を没収し、権利を相手チームに譲る。)
- 続いて赤チーム、次は緑チームと互い違いに投げて、各チーム6枚のディスクを投げ続けます。ディスクがひっくり返ってしまったときは、相手チームのディスクとなってしまいます。
- これで1イニングが終了し、採点に移ります。得点はポイントに一番近い相手のディスクよりも、何枚近づいているかを数えます。
- 得点の数だけ得点表に○を入れ、○の中にイニング数を書き込みます。
- 勝ったチームがポイントを投げ、次のイニングを始めます。7点に早く達したチームが勝ちとなります。
- イニングの途中でポイントがコートの外へ出た場合は、この時点でイニングを終了して、手持ちのディスクの枚数で採点し多いチームの得点とする。同数の場合はノーゲームとする。
- 1イニングが終了し、次のイニングに入る時、ローテーションしていく。

4. 競技進行中の判定

- 投盤の際の姿勢は立とうと座ろうと、どんな投げ方でもOKです。座って投げる[座投]も有効的ですが、床面に着いたひざが投盤ラインに触れたり、オーバーしないように注意する必要があります。
- 投盤者が投げ終わった直後にコート内に踏み込んでもOKとします。
- コートを囲うライン上にディスクやポイントが触れた場合の判定の仕方は？

⇒ラインの外側をセンターラインとしディスクやポイントがセンターライン中央を含めて、それより内側に位置していたらセーフと判定します。



- コートライン内に投げたディスクやポイントが立ったまま回転しながらコート外に出ても、もどった位置がコート内ならセーフとします。

5. 採点方法

- 投げる時に投盤ラインや両サイドの投盤エリアラインを踏んだりオーバーした場合に→相手チームに1点加点。得点表には△として記入。
- ディスクを手を持って、いったん空中に振り出すので、これに反する投げ方をした場合は、相手チームに1点加点する。得点表には△として記入。

6. 得点の記入方法

- イニングごとに得点数だけ○を記入し○の中にイニングの回数を書き込む。
- 反則点の記入は△とし、△の中にイニング数を書き込む。ただし、7点目が△で加点された時はコート上の採点結果を待ってからゲームオーバーを宣言する。
- 勝敗を決定づける7点に、片方はコート上の得点で、他方は反則ペナルティー点により到達した場合は、コート上の得点を優先します。

(赤チーム)	赤	得点	緑	(緑チーム)
1イニングで1点先取	①	1	②	2イニングで2点先取
4イニングで1点先取	④	2	②	
6イニングで2点先取	⑥	3	③	3イニングで4点先取
	⑥	4	③	
7イニングで3点先取	⑦	5	③	
	⑦	6	③	
	⑦	7	△7	7イニングで反則1点取得
	7	計	7	

このとき5イニングはノーゲームとなった。

このときの勝敗は、赤チームの勝ちとなります。